

11月4日(木)

Tokeshi 教授の診療所見学

報告：鴨川 由起子 (Aグループ)

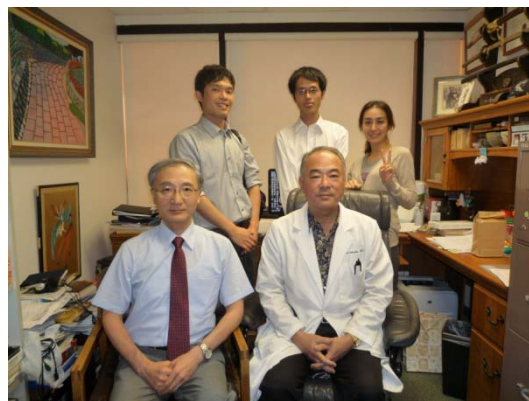
Tokeshi 教授は全然アメリカナイズされていない日本的な先生でした。患者さんからの信頼も厚く、Tokeshi 先生にかかりつけで診てもらえる患者さんたちは幸せだなと思いました。また、診療所が総合病院と併設されていて、とても便利だと思いました。それに、マンションの1室にあり、日本の病院とは全然雰囲気も違い、とてもリラックスできる場所でした。診察室もいくつかあり、日本の病院のように待合室でいろいろな患者さんと一緒に待たされずにすむようになっていました。



Tokeshi 教授の部屋には大きな窓があり、ハワイの景色が一望でき、綺麗な虹が見られました。そして、クラシック音楽が流れており、このような中で仕事ができるなんてとても羨ましいと思いました。患者さんにとっても良いと思いました。本棚には医学書だけではなく、教授の好きな剣道の本や、仁や義について語った本なども多く見られました。

患者さんには英語で予診をとらせてもらったり診察させてもらったりしました。内科的な疾患だけではなく、耳鼻科的なものや皮膚科的なものまであらゆる分野の診療をされており、日本のように専門分野化されておらず、見学していてとても興味深かったです。

病院の廊下には The Best Doctors in America という表彰状が何枚も飾ってあり、日本に帰国してから何の賞なのか調べてみたのですが、医者が選ぶ Best Doctors だそうで、患者からも医者からも選ばれるようなすばらしい先生なんだと再度痛感しました。Tokeshi 先生のような立派な先生の診療を見学させていただけたことは、



とても貴重で有難く思います。帰国した今でも先生からいただいたお話は身に
しみるものがあり、とても感謝しています。1日だけでしたが、多くのものを得
られました。